



平成30年8月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年7月13日

上場会社名 株式会社 大庄
コード番号 9979 URL <http://www.daisyoko.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平 了寿

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 水野 正嗣

TEL 03-5764-2229

四半期報告書提出予定日 平成30年7月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年8月期第3四半期の連結業績(平成29年9月1日～平成30年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第3四半期	46,261	4.5	481	20.3	512	17.2	576	
29年8月期第3四半期	48,444	6.7	604	151.4	619	150.3	2	99.9

(注) 包括利益 30年8月期第3四半期 596百万円 (%) 29年8月期第3四半期 42百万円 (98.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第3四半期	27.85	
29年8月期第3四半期	0.12	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年8月期第3四半期	43,695	22,789	51.7	1,092.38
29年8月期	39,250	22,486	56.8	1,078.03

(参考) 自己資本 30年8月期第3四半期 22,595百万円 29年8月期 22,298百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期		6.00		8.00	14.00
30年8月期		6.00			
30年8月期(予想)				8.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年 8月期の連結業績予想(平成29年 9月 1日～平成30年 8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,900	3.2	500	11.4	515	34.7	580		28.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年8月期3Q	21,198,962 株	29年8月期	21,198,962 株
期末自己株式数	30年8月期3Q	514,789 株	29年8月期	514,769 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年8月期3Q	20,684,183 株	29年8月期3Q	20,684,267 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済政策・金融政策の効果を背景に、企業収益や雇用環境の改善が続く中で、個人消費も持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、外食業界におきましては、原材料価格の高騰に加えて、人手不足を背景にした人件費の上昇なども懸念される中で、台風や寒波など天候不順の影響も重なり、依然として厳しい環境が続きました。

このような状況下において、当社グループは、前期に引き続き「店舗リストラクチャリングの推進」並びに「店舗業態ポートフォリオの充実化」を最重要戦略と認識し、将来に向けた収益基盤の確立を図るとともに、MD（マーチャンダイジング）改革の推進、従業員向けモチベーションアップ策の拡充、グループ子会社の役割・機能強化など、様々な施策に取り組みました。

一方、店舗展開におきましては、新規出店を14店舗、店舗改装を41店舗、店舗閉鎖を24店舗で行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ4.5%減少の46,261百万円となりました。

セグメント別では、飲食事業につきましては、当社グループの既存店売上高が対前年比98.3%と減少したことや、前期及び当期に実施した店舗閉鎖による売上減少が大きく影響し、売上高は前年同期に比べ7.1%減少の36,535百万円となりました。

卸売事業につきましては、フランチャイズ店舗への食材卸売が減少したこと等により、売上高は前年同期に比べ2.2%減少の3,091百万円となりました。

不動産事業につきましては、賃借店舗物件の転貸が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ2.5%増加の836百万円となりました。

フランチャイズ事業につきましては、前期に新しく導入した「ボランタリーチェーン（VC）制度」の推進に伴う事業の拡大により、売上高は前年同期に比べ17.6%増加の325百万円となりました。

運送事業につきましては、物流子会社が行うグループ外部取引先への配送業務が増加したことにより、売上高は前年同期に比べ13.1%増加の5,025百万円となりました。

その他事業につきましては、売上高は前年同期に比べ7.1%増加の446百万円となりました。

一方、利益面につきましては、営業利益は前年同期に比べ20.3%減少の481百万円、経常利益は前年同期に比べ17.2%減少の512百万円となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、連結子会社における固定資産の譲渡等により固定資産売却益を846百万円計上したこともあり、576百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益2百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は17,628百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,095百万円増加となりました。これは、現金及び預金が2,008百万円増加したこと等によるものであります。

また、固定資産は26,049百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,332百万円増加となりました。これは、店舗改装等により建物及び構築物（純額）が2,888百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は9,210百万円となり、前連結会計年度末に比べて621百万円増加となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が618百万円増加したこと等によるものであります。

また、固定負債は11,696百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,521百万円増加となりました。これは、長期借入金が2,566百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は22,789百万円となり、前連結会計年度末に比べて302百万円増加となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が286百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年4月13日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日発表の「(開示事項の変更) 圧縮記帳における経理方式の変更及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,657	13,665
売掛金	1,938	1,998
有価証券	65	64
商品及び製品	499	543
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	153	153
繰延税金資産	367	372
その他	1,009	980
貸倒引当金	△158	△152
流動資産合計	15,532	17,628
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,355	9,243
機械装置及び運搬具(純額)	499	558
工具、器具及び備品(純額)	431	541
土地	4,150	3,793
リース資産(純額)	147	89
建設仮勘定	669	572
有形固定資産合計	12,254	14,798
無形固定資産		
借地権	913	913
リース資産	2	1
その他	584	667
無形固定資産合計	1,500	1,582
投資その他の資産		
投資有価証券	295	312
出資金	4	4
長期貸付金	22	18
差入保証金	6,093	6,007
敷金	3,387	3,229
繰延税金資産	59	7
その他	230	192
貸倒引当金	△131	△103
投資その他の資産合計	9,962	9,668
固定資産合計	23,717	26,049
繰延資産		
社債発行費	-	18
繰延資産合計	-	18
資産合計	39,250	43,695

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,972	1,889
短期借入金	125	125
1年内返済予定の長期借入金	2,590	3,209
1年内償還予定の社債	30	90
リース債務	95	64
未払金	2,414	2,310
未払法人税等	300	217
未払消費税等	213	115
賞与引当金	390	209
株主優待引当金	115	91
店舗閉鎖損失引当金	1	1
資産除去債務	35	232
その他	304	653
流動負債合計	8,588	9,210
固定負債		
社債	-	765
長期借入金	3,801	6,367
リース債務	116	64
退職給付に係る負債	1,835	1,886
役員退職慰労引当金	305	234
受入保証金	644	619
資産除去債務	1,352	1,332
繰延税金負債	110	420
その他	7	4
固定負債合計	8,175	11,696
負債合計	16,763	20,906
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,626	8,626
資本剰余金	9,908	9,908
利益剰余金	4,216	4,502
自己株式	△602	△602
株主資本合計	22,148	22,434
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	155	165
土地再評価差額金	△5	△5
その他の包括利益累計額合計	149	160
非支配株主持分	188	194
純資産合計	22,486	22,789
負債純資産合計	39,250	43,695

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年5月31日)
売上高	48,444	46,261
売上原価	18,521	18,324
売上総利益	29,922	27,937
販売費及び一般管理費	29,318	27,455
営業利益	604	481
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	3
受取保険金	1	25
貸倒引当金戻入額	2	19
その他	66	46
営業外収益合計	74	94
営業外費用		
支払利息	26	28
その他	33	34
営業外費用合計	59	63
経常利益	619	512
特別利益		
固定資産売却益	5	846
受取補償金	72	241
特別利益合計	77	1,087
特別損失		
固定資産除却損	150	221
店舗関係整理損	37	53
減損損失	106	124
事業支援損	-	39
店舗閉鎖損失引当金繰入額	20	1
子会社移転費用	-	18
特別損失合計	315	458
税金等調整前四半期純利益	382	1,142
法人税、住民税及び事業税	228	201
法人税等調整額	139	354
法人税等合計	367	556
四半期純利益	14	586
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	2	576

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年9月1日 至 平成29年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年9月1日 至 平成30年5月31日)
四半期純利益	14	586
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27	10
その他の包括利益合計	27	10
四半期包括利益	42	596
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30	586
非支配株主に係る四半期包括利益	11	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度の適用)

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年9月1日至平成29年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フランチ ャイズ事 業	運送事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	39,328	3,161	816	276	4,444	48,027	416	48,444	—	48,444
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	8,088	299	—	478	8,866	415	9,281	△9,281	—
計	39,328	11,250	1,116	276	4,922	56,893	831	57,725	△9,281	48,444
セグメント利益	1,496	310	257	189	144	2,399	79	2,478	△1,874	604

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,874百万円には、セグメント間の取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,873百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において98百万円であります。

「その他」セグメントにおいて、その他の資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において8百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年9月1日至平成30年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フラン チャイズ事 業	運送事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	36,535	3,091	836	325	5,025	45,815	446	46,261	-	46,261
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	7,670	278	-	488	8,438	353	8,792	△8,792	-
計	36,536	10,762	1,115	325	5,514	54,254	799	55,054	△8,792	46,261
セグメント利益	1,554	150	261	197	76	2,240	99	2,340	△1,858	481

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,858百万円には、セグメント間の取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,857百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において118百万円であります。

「フランチャイズ事業」セグメントにおいて、フランチャイズ店への賃貸資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において5百万円であります。

「その他」セグメントにおいて、その他の資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において0百万円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、「その他」に含まれていた「運送事業」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

以上